

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

- 公共機関
・区役所 中原区役所5Fなかはらっば 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113
・会館 川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000
・会館 川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560
・会館 かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566
・郵便局 川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724
川崎ブレイメン通郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800
川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800
川崎木月大町郵便局 中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3617
●元住吉西口(ブレイメン通り/井田中ノ町商店街通り)
・果物 フルッチョ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338
・音楽教室 SouleaveMusic School 中原区木月伊勢町10-1 三起ビル302 Tel.044-750-8992
・介護センター みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月1-35-7元住吉GSビル2F Tel.044-430-6963
・カフェ 水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288
Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7015
・花屋 ゆうき亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999
・鉄板焼 キヤメル ヘアーデザイン 中原区木月1-32-10中嶋ビル1F Tel.044-872-7375
・ヘアサロン リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554
・パン ABCカiroプラクティック 中原区木月3-20-16 柳沢ビル 1F Tel.044-434-4342
・カイロ、整体 MUI(旧 もとえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368
・コーヒー専門 フォレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156
・カフェ 井田名倉堂・栗山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850
・接骨院 イダカフェ 中原区井田中ノ町33-9 Tel.044-799-7127
・コミュニティカフェ つだとけいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022
・時計・貴金属 アルケファクトリー 中原区井田中ノ町33-7 Tel.044-797-2430
・広告制作 波照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692
・ヘアサロン Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町8-2 Tel.044-755-0273
・理容室 コインランドリーマンマチャオ元住吉店 中原区井田中ノ町4-1 メゾンアッシュ Tel.0120-027-217
●元住吉東口(オズ商店街通り)
・カフェ cafe OrangeBlue 中原区木月住吉町7-48-101
・介護センター ツクイ川崎中原 中原区木月2-8-5 Tel.044-431-0027
・調剤薬局 網島街道薬局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374
・飲み食い処 粋い仙人 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980
・古本・CD 凸と凹と 中原区木月2-10-3
・イタリア料理 自在屋 中原区木月4丁目10-6 Tel.044-433-5644
・STEAK ステーキグラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129
・お茶 金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877
・ステーション ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863
・サンドウィッチ ベトナムウィッチThao's 中原区木月2-1-1 Tel.044-982-3299
・鍼灸院 和式整体&整心の『響氣』 中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880
●元住吉近郊
・喫茶室 シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-588-9688
●武蔵小杉近郊
・喫茶店 Coffee Spot Life(ライフ) 中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024
・紅茶専門店 Tea House ローズマリー 中原区小杉町70-4 Tel.044-733-1076
・カフェ フォレストコーヒー 小杉サライ通り店 中原区今井南町428-9 Tel.044-819-8822
●東横線沿線
・調剤薬局 オレンジ薬局川和町店 横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005
・調剤薬局 駒沢通り薬局 東京都目黒区中央2-40-8 Tel.03-6412-7318
・写真 PHOTO SHOP 銀嶺 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406
・カフェレストラン カンファーマ・ツリー 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビル Tel.045-211-2200

※上記サポーター記載は無料です。

M MAGAZINE 発行人: 塚田親一 発行音楽好きな友の会 〒211-0034 川崎市中原区井田中ノ町33-7 棟アルケファクトリー内 TEL:044-797-2430 2018-2-18-800 PrintingPK

# M MAGAZINE

March

●Motosumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories



元住吉の気軽な音楽会  
後援:  
「音楽のまち・かわさき」推進協議会  
公益財団法人 川崎市国際交流協会  
人形劇団ひとみ座 /rk-factory

## 2018 3月号

3月4日(日) 13:30~  
3月18日(日) 13:30~  
音友レコード倶楽部  
場所イダカフェ

3月13日(火) 12:10~  
ランチタイム  
ロビーコンサート  
場所川崎市生涯学習プラザ

3月9日(金) 19:00~  
レコードコンサート  
フランク・シナトラ特集  
場所イダカフェ

3月26日(月) 13:00~14:30~  
ママのおひざで聴く  
ヴァイオリンコンサート  
場所イダカフェ



1889年、ブラームスはエジソンの依頼により、自由「ハンガリー舞曲第一番」とヨーゼフ・シュトラウスのポルカ・マズルカ「とんぼ」を自らピアノ演奏して録音した。これが史上初のレコーディングとされている。そして、ジャズの歴史上書かせないのは録音技師の力である。ヴァン・ゲルダーは一般に音楽史上で最も重要なレコーディングエンジニアの一人と考えられており、数百のセッションを録音したジャズ史の影の伝説的人物である。彼はジャズのレコーディングに今までになかったような明晰さを持ち込み、マイルス・デイヴィス、セロニアス・モンク、ウェイン・ショーターやジョン・コルトレンといったジャズ界の偉人の作品を多く録音した。特にブルーノートは有名、彼の録音手法は、温かさと存在感のある音の仕上げが定評であるが評論家は、ピアノの音が細く隠れがちなものになってしまうことに不満を表明している。評論家のリチャード・コックは、ヴァン・ゲルダーのピアノの録音手法は、しばしばピアノの演奏と同じくらい独特のものであると書いている。(wikipediaより)

### 田島華乃のお知らせ ※連載はお休みさせていただきます。

## 3月からヴァイオリンとピアノでリニューアル!

### ママのおひざで聴くヴァイオリンコンサート

3月26日(月)「イダカフェ」  
開催時刻:①13:00~14:00 ②14:30~15:30  
コンサートの前後はちびバイオリン体験コーナーです。  
★参加費 親子1組:2,500円(追加1名1,000円)

### 子供たちにこそ本物を

子供たちにこそ本物をというコンセプトで、プロのヴァイオリニストの田島華乃とピアニストの片山祐子が、本格クラシックの名曲を中心に、親子で楽しめるコンサートをお届けします。

「はらべこあおむし」や「おきなかぶ」などの巨大絵本の弾き語りや、季節のうたと一緒に歌ったり、おもちゃの楽器でみんなで合奏をしながらリズム感を育てたりと、盛りだくさんの内容です。  
コンサート前後に、ちびバイオリンの体験ができます。

●田島華乃  
●ピアノ:片山祐子

●お問い合わせ・お申し込み音の家otonoya <https://otonoya.jimdo.com/>  
会場:イダカフェ 元住吉駅から徒歩10分

●開催時刻: ①13:00~14:00 ②14:30~15:30 (ご希望の回をご予約下さい)  
●締切日:当日までの申し込み可  
●定員:10組  
●対象者:0歳~  
●関連URL: 音楽好きな友の会 <http://ontomo.jp/>  
音友会のクラシック・ソサエティのリーダーもしています。

### 川崎市国際交流センター

## 多文化映画会

2018年3月10日(土) 13:30~16:00 / 入場料:無料

映画「こんばんは」の上映会&森行監督とのトーク  
映画「こんばんは」は、山田洋次監督作品「学校」のモデルにもなった夜間中学校を、一年半にわたって記録した長篇ドキュメンタリーです。

●お問い合わせ・お申し込み(公財)川崎市国際交流協会 TEL 044-435-7000 FAX 044-435-7010 E-mail:kawasaki@kian.or.jp 川崎市中原区木月祇園町2-2 元住吉駅から徒歩10分  
協力:多文化活動連絡協議会

## こんばんは

### 川崎市生涯学習プラザ

## 第64回 ランチタイムロビーコンサート

2018年3月13日(火) 12:00開場 / 12:10開演 / 12:40終演予定 / 料金:無料  
どなたでも気軽に音楽を楽しめるアットホームなコンサート

●出演:村井晴(フルート) 大山貴士(ピアノ伴奏)  
●村井晴:1996年神奈川県出身。第67回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。第32回かながわ音楽コンクール一般部 特選。第19回「万里の長城杯」国際音楽コンクール 大学生管楽器部門にて第2位(最高位)。現在、東京音楽大学音楽学部音楽学科器楽専攻3年在籍中。フルートを山田恵美子、神田寛明、相澤政宏の各氏に師事。  
●大山貴士:1996年東京都出身。高校在学中は吹奏楽部に所属し、クラリネットとピアノに打ち込む。25回ヤングアーティストピアノコンクールS部門本選入賞。現在、東京音楽大学音楽学部音楽学科器楽専攻3年在学中。ピアノを小高明子、吉田友昭の各氏に師事。  
●曲目: スタンリー・マイヤーズ:映画「ディア・ハンター」よりクヴァターナーカーベンターズ:青春の輝き 松任谷由実:春よ、来い W.モントーニ:チャルダッシュ、他

▲村井 ▲大山

### 音楽を通して気さくに語り合える集いです。

## 音友レコード倶楽部

ONTOMO Music Record Club

3月4日(日) / 3月18日(日) 午後1:30~午後4:30  
イダナカ商店街・井田小学校正門前「イダカフェ」 参加費¥500 / 飲み物¥500円(クッキー付き)

## 3月18日は、SWINGTIME at idacafe

スウィング時代は1930年代中頃から1940年代初め辺りまでを指し、特に大型ボールルーム、ナイトクラブ、劇場などで活動した、いわゆるビッグ・バンドの全盛期に当たりますが、今回はスモール・グループ(コンボ)による歴史的名盤と、セッションも加えてのプログラムを組んでみましたので、お楽しみいただきたいと思えます。(S.K)

▲Coleman Hawkins/ Body and Soul (SPLレコード)

音楽が好きなら、一緒に楽しみませんか?ボランティアスタッフ募集中!  
レコードコンサートやライブイベント等、地元「元住吉」周辺での企画や運営と一緒に楽しみませんか?年齢・性別・国籍問わず。ただし、あくまでもボランティア精神で。いっしょに「川崎・音楽のまち」を楽しみながら推進しましょう!

音楽好きな友の会 Music Enjoy Club 入会のお申込み、問い合わせは <http://ontomo.jp/> 検索 090-9398-2889 (担当:塚田)

### イダカフェ&クールダウンJ

## 3月9日(金)19時スタート フランク・シナトラ特集

### スイングジャズ時代のフランク・シナトラをたっぷり楽しみませんか!

金曜日の夜は、元住吉、井田小学校正門前のジャズ喫茶で!!  
音響装置はKT-88/6L6の真空管アンプで、暖かな音色がより疲れを癒します。  
元住吉駅西口下車、ブレイメン通りを抜け徒歩12分。井田小学校正門前

★ida cafe Friday Night★  
**Cool Down-J.**

### ソウリーヴ・ミュージック・スクール SouleaveMusic School

<http://souleave-music.com/>  
元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分  
チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992 AM8:00/PM22:00start

### フォレストコーヒー

イダナカ商店街店&サライ通り店  
中原区井田中ノ町33-1リエール住吉1F  
TEL:044-754-1156 Open:9:00~20:00(休:水曜日)

### ゆうき亭

ブレイメン通り商店街、鉄板焼き  
中原区木月1-28-16 TEL:044-434-6999  
ランチタイム:11:30~15:00 ディナータイム:17:00~22:30 (LO 22:00) (休:火曜日)

### モトスミ Jazz Night

●モトスミJazz Night委員会HP <http://motosumijazznight.org/> ●Tel:050-5275-5740



連載18 私とジャズ 松波陽介

Water of March

先月は社会派ネタになってしまいましたが、安心してください、今月はちゃんと音楽ネタです!(笑)

3月といえば卒業シーズンでもあり、別れの季節という雰囲気ですが、実はジャズのスタンダードには色々と3月に関わる曲がある、というのはご存知でしょうか? Bill Evans の演奏で有名な Lorenz Hart / Richard Rodgers の作曲による "Spring is here" や Clifford Brown と Max Roach の共演で有名な "Joy Spring"。Ella Fitzgerald の独特な歌声で春の憂鬱さを歌った "Spring can really hang you up most" や詩の内容と音楽が非常にマッチして、独特な感じで春の待ち遠しさを表している "You must believe in spring" などあげたら枚挙にいとまがありませんが(以上で紹介した曲は "あなたのくだ" = youtube で検索できますので... きっとこんなことを書いて怒られるのは百も承知ですが、気に入ったものがありましたら、ぜひその曲が入っているアルバムを買うことをお勧めします!) 今回ご紹介したい曲は Antonio

Carlos Jobin の作曲による "Water of March" という曲です。僕がこの曲と出会ったのは以前(かなり前になるかと思いますが)ご紹介したピアニストの Carla Bley のトリオの演奏している作品でした。初めはインストの演奏を聴いてメロディーの美しさに心打たれて、元の演奏を探してみると... なんと、歌詞を耳にした瞬間衝撃を受けました。この曲の歌詞を紹介したいと思います。(あまりにも長すぎるので、初めの一冊だけ紹介します、最後に全文載せさせていただきます。) A stick, a stone, It's the end of the road. It's the rest of a stump. It's a little alone. It's a sliver of glass. It is life, it's the sun. It is night, it is death. It's a trap, it's a gun. と、このような感じで見、脈絡の無い単語が並んでいると感じられると思います。作曲家 Antonio Carlos Jobin の住むブラジルでは、3月が丁度雨季(日本では台風などの時期に近い)を迎え、水の被害が増えるそうですが、そんな水害の漂着物を見ながら着



想を得て、この曲が作られたと言われています。僕は "3月" と "水" と言うワードでどうしても思い出してしまうのは、東日本大震災のことで、涙した、とはこのことを思い出さざるを得なかったからかもしれません。震災から7年が経とうとしていますが、あの日目にした光景は現場から離れたところにいる僕にですら衝撃的で、今でも忘れることが出来ないし、忘れてはならないと思います。しかし、この曲の、それぞれのパートの最後の部分にもあるように ["川岸から3月の水が語りかけてくる、命の気配、心に満ちる。重荷は消え果て、心に喜び溢れ出す"] 必ずしも我々が経験したことはマイナスな面だけではなく、その反対側にはその時

は気付かなかった面もあるのだ、と言うことを優しく教えてくれる歌詞であるな、と言うことは私は考えました。水、と言うのは私たちにとって欠かせないものであり身近なものではありますが、それが先の震災では大きく姿を変えろと言う事実もあります。言うなれば生と死を司っているのではないかとも思います。この曲はその両面を本当によく表した歌であるな、と言うことを改めて再認識させられました。



▲Elis & Tom/Elis Regina & Antonio Carlos Jobim

音友会 2018年1月音友会 ジャズとクラシックの異なる点

新年早々のジャズカフェも昨年同様、東京から来られた新たな方が参加されました。東京の方ではオーケストラでサクソフーンを、そしてこちら川崎市の方ではこの度、合唱団に参加されるとの事です。私がこの会に参加して1年が経過しましたが、その間にいろいろな音楽好きの方に出会う機会に恵まれ、またその方々の楽しい音楽関係のお話ができることは何よりの楽しみであります。

ジャズのカフェのスタッフや来られる方は楽器を演奏している方が多いため、今回はクラシックとジャズの演奏の在り方の違いが話題となりました。クラシックに携わる方々は礼儀正しく礼節を尽くす人が多いが、演奏面では

り、テンポが早くなっていたり、新鮮な感じを受けました。また、一番違っているなあと感じたのは二人共、年を取ったせい、若干当時出していた声と比較すると低くなっていた事でした。しかし、相変わらず二人のハーモニーは美しく、天下一品である事には変わりありません。古くても良い曲は良いという事を改めて感じさせるアルバムでした。また他にも聴いた曲をジャケット写真の下に記しました。(フレドリック・ジョーンズ記)



▲Live On Stage/Simon & Garfunkel 'Old Friends'



▲Orbit/Neil Larsen 'Jungle Fever'



▲Saxuality/Candy Dulfer 'Lily Was Here'



▲Heartache/Leslie Smith 'It's Something'

奏法に作曲に、輝く個性溢れる「セロニアス・モンク」

レッド・ガーランドのプレステッジ盤を買おうとしたら「若いのにそんなつまらないものを買うことはない。これを買ってじっくり聴きなさい」とレコード店の店主に「5 By Monk By 5」のアルバム(写真①)を無理矢理に買わされたが、どれだけ聴いても聴き飽きしなかつた、村上春樹氏が若き時代のエピソードを「セロニアス・モンクのいた風景」に書いています(写真②)。

その人の運命を変えた人として、パトロンとなったパノニカ男爵夫人(1913年ロンドン生まれ-1988死去)も知られています。名曲

「Round Midnight」を聴きその魅力の虜となり、1954年にモンクがパリで演奏(写真③)を行った際、当時フランスにいた彼女は友人の紹介で初めてモンクに会い(写真④)、彼の人物にも惚れ込み、より近づくため41歳でアメリカへ渡りニューヨークに住み始めました。1970年代になり演奏が出来なくなったモンクは、パノニカ夫人のニュージャーシーの家に家族で引き取られました。良妻の誉れが高いネリー夫人とパノニカ男爵夫人は、精神に異常を



▲Solo On Vogue

たしたモンクに付き添い共に世話をしました。1982年の葬儀にはネリー夫人とパノニカ男爵夫人が並んで参列者に挨拶をしたそうです。人に大きな感動を与えたモンクの魅力は、時代を超えてこれからも輝き続けることでしょう。町田市にパノニカ夫人から名付けたという「Nica's」というジャズ・バーが有りますが、久しぶりに訪ねてみようと思います。2018年最初のジャズ専科は14人の参加で満席状況でしたが、皆さんが熱心にセロニアス・モンクの音楽に耳を傾けていました。(K.T記)



▲The Jazz Baroness (TV/キム・タリ番組)



▲①5 By Monk By 5



▲②セロニアス・モンクのいた風景(図書)

連載15 4ビートに首ったけ

地元マスターのジャズ談話 BIANCA店主 長谷部 徹

一体何回聴いたのだろう? 15歳の時から40年以上聴き続けているアルバムとは?

今までに一番回数聴いたアルバムは何だろう? そんな事を考えた事はありませんか? ビル・エヴァンスの「WALTZ FOR DEBBY」かな? それともニー・クラークの「COOL STRUTTIN'」? はたまたビートルズの「サージャントペイパーズ」でしょうか? 意外と、名盤では無くて、あまり知られていない地味な1枚だったりませんか? 今日は、私が今までの人生で一番回数多く聴いたであろう1枚をご紹介します。

私には15歳の時に手に入れて、大好きになり、つい昨日も聴いたアルバムがあります。中学3年生の時に松田君が持っていたそのLPレコードと私の「スレイド!」と言うブリティッシュハードロックバンドのLPを交換したのです。それ以来、ずっと聴いている。最近AmazonでCDを発見したので、お店のBGMとして連日聴いています。43年間、ベビーローテーション! 我ながら、よく飽きないな、と感心してしまいます。そのアルバムとはクリス・ヒンゼ(フルート)の「SKETCHES ON BACH」(写真①、今は手

放してしまったLPの写真)です。

クリス・ヒンゼ? あまり馴染みの無い名前ですよ。私もこの1枚は聴いているのですが、その他の事は全然知らない。バックパッカー時代にカトマンズのCDショップでチベット音楽をテーマにしたアルバムを見つけました。買ってきて帰国後に聴いたのですが、全然ピンとこなくて、そのままどこかに無くなりました。そこで、この記事を書くにあたって、少し調べてみたのですが、クリス・ヒンゼは1938年オランダ生まれ。クラシックをやっていた父の影響で音楽を始め、パーカー音楽院も卒業しています。バロックの他にはチベット音楽やインド音楽など東洋系のスピリチュアルなものが多く、日本の琴や尺八の名手とのコラボアルバムもあるようです。また、KEYTONEと言うレーベルも設立していて、かなり精力的に活躍していたみたいです。(残念ながら、現在の様子は不明でした。) で、どんなアルバムかというと、題名の通り、フルート、ピアノ、ギターとドラムの構成でバッハをやっている



▲Sketches and Variations on Bach / Chris Hinze

今、実際に聴いているのは「SKETCHES AND VARIATION ON BACH」(写真②)と言うCDで、2枚をカプリングしたらしく、7曲増えています。内容は、バッハのフルート・ソナタ短調(BWV.1030)、変ホ長調(BWV.1031)、マタイ受難曲などからの選曲です。また、ルイス・バン・ダイクのピアノプレイも際立って素晴らしい。聴きどころのひとつだと思います。

の絡み合いに変わっていて、張り詰めたような緊張感です。そしていきなり始まるピアノソロが素晴らしい。その瞬間がこのアルバムのハイライトの一つかもしれない。そして1番のお気に入りには6曲目 "O HAUPT VOLL BLUT UND WUNDEN" (読めない!)。スケールの大きなイントロで始まり、ピアノとのコンビネーションが絶妙でとても印象深い1曲です。

お勧めは、まず1曲目 "SICILIANO"。エレビの神妙な美しいイントロから始まり、前半は原曲に近い演奏ですが、後半から徐々にジャズ色が混ざってきます。メロディーの陰に悲しみや喜びや切なさが見え隠れて、短編小説を読んだような気持ちになります。続く2曲目 "BADINERIE" も圧巻です。速いテンポでフルートとギターが全く違うメロディーで絡み合い、その複雑さに、驚きます。それが、いつの間にかフルートとピアノ

一体、どうしてこのアルバムにこんなに惹かれるのでしょうか? プレイはもちろん素晴らしい。シンプルだけれども奥行きがある。でも、それだけが理由なのかな? 自分でもよくわからないのですが、もしかしたら、原曲の持つ力なのかもしれません。クラシックファンでは無いので、マタイ受難曲なんて聴いたことが無いのですが、一度聴いてみようかな? もし、お勧めのアルバムがあったら是非教えて下さいね。

Essay 「くじら座」日記 牧野ケント

スガシカオさんの言葉

全国のライブハウスをたった一人で廻り、どの会場も満員になってしまうアーティストがいる。それが「スガシカオ」だ。私がボーカル・ギターを担当するくじら座は、1月、光栄なことにスガシカオさん静岡公演のオープニングアクトを務める機会を頂いた。なぜ、このように著名なアーティストが自身の大切なライブで敢えて前座を付け、機会を提供して下さるのか。そこには「地方ライブ

ハウスシーンの活性化」という、音楽業界が抱える問題に対して立ち向かうスガシカオさんの姿があった。「お客さんの心をたくさん掴んでね。ファイト!」スガシカオさんの人柄に背中を押され、くじら座はステージに立った。ご来場のお客にとって出てきた2人組お目当てのアーティストではなかったはずだが、愛のある大きな拍手が響いた。そこは、紛れもなく音楽を愛する素敵な人たちで溢れていた。

くじら座も、普段から多くの素敵なお客様に囲まれている。お客様の「数」だけではなく、お一人お一人にそれぞれ想いの深さがあることも感じている。今回のステージで得た想いを、いつの日か今度はくじら座自身が発信できるよう、スガシカオさんにも書いて頂いた「夢」をお預かりして次へ進む覚悟だ。「地道にやっていけば大丈夫」。スガシカオさんのその言葉が、私の心の中で



あの日、舞台袖まで聴こえた大きな拍手の余韻と共に今も響いている。

Essay Addicted to Guitar-3 永瀬 晋

チューニングを安定させるには

新年度が近くなると新しい事に挑戦したくなります。読者様にギターを始めようという方が、どれだけいらっしゃるかわかりませんが(笑)今回もギター豆知識を紹介させていただきます。さてテーマは前回に引き続きチューニングネタでございます。 「一度チューニングしたのに直ぐにずれてしまう」というお話を度々いただくことがあります。 「弦は材質の関係上、安

定するまで少し時間がかかる」という理由が大きいのです。改善方法としては「目標の音程に対して低い音から合わせる」。この方法を使っただけだと大分安定すると思います。ギターという楽器が正確なチューニングをするという点で不完全な部分も多く、正確なチューニングで演奏するには、とにかく「細目にチューニングをチェックする」というのが重要です。 極端な例ですと1曲演



奏するとほんの少しずれが生じることが多いからです。正確なチューニングをすることで楽器のハーモニー、アンサンブルもパワーアップすること請け合いですので、是非お試しください。 次回もお楽しみに。



▲2018・1・19 イタカフェニューイヤーライブで